

第2回運動部会議事概要

日時：令和7年7月15日（火）18:30～20:00

場所：名寄市役所 名寄庁舎第1委員会室

出席者：松澤 大介、清水 幸子、小笠原 志朗、桑内 寿則、松浦 修司、金澤 秀和、
大沼 広明

1 開 会

2 議 事

K委員：今年度、拠点校方式を進める。令和8年夏の休日の地域クラブ活動に向け、競技団体主体で進める体制を再検討し、学校との協力体制構築を図るため、7月24日18時30分より意見交換会を開催する。全体説明後、競技種目ごとの課題を話し合うワークショップ形式で実施し、委員が各テーブルに入り、意見を引き出しやすい環境を整える。内容については、事務局から説明をよろしく。

事務局：議事（1）「スポーツ団体・部活動顧問全体会議について」、（2）「令和7年度検討スケジュールについて」の説明

K委員：7月24日の全体会議後、数回の部会を開催予定。市の予算編成に間に合わせるため、具体的な課題と解決策を種目ごとに話し合い、最終的に各団体の実施案を共有・発表する予定。その間、同時進行で競技団体が主体となり、受け入れ体制を協議し、入会要項などの支援内容を統一様式で作成。

A委員：別紙資料1の4枚目、拠点校方式が令和7年度の1年間だけに見え誤解を招く可能性がある。次ページ名寄市の地域展開では、クラブチーム・地域団体・少年団などの区別が不明確で、用語の使い方や表記の統一が必要。

事務局：このような書き方をしたのは、色々な受け皿の可能性があることを示した。

A委員：団体やチームの表記が曖昧で分かりづらいため、「競技系」「文化系」など大まかな分類にした方が理解しやすいのではと感じる。実際には複数の団体が存在することは把握しているが、それを踏まえても図の整理や表現をもう少し工夫する必要があると感じる。

H委員：以前にもらった北海道の地域クラブ活動の資料のように、もっとシンプルな構成の方が分かりやすいかもしれない。地域活動の枠組みがあり、その中に競技団体や文化団体が含まれ、参加希望に応じて選べるという構成の方が分かりやすい。例えば、教員がクラブチームには関わるが地域団体にはいないようにも読み取れ、誤解を招く恐れがある。

D委員：現在の資料は、全地域共通の広い内容だが、名寄市の実情に合わせて調整した方がよい。

A委員：私がテニスをしていた時に、「休日とは具体的に何の休日か」と聞かれ、土日や祝日、夏休み、冬休み、教員が休む研修日などのどれを指すのか不明で、即答できず後で確認すると答えた。休日の定義が明確でないことが課題となっている。

事務局：休日とは土日祝日を指し、夏休み中などの長期休業期間の平日は地域の方が働いているため含まれない。

A委員：休日は暦の土日祝日が基本で、夏休み中の部活動は従来通り拠点校の中学校教員が平日の昼間に担当するイメージ。子どもの夏休み全体を指すのか分かりづらいため、名寄式の休日定義を明確に示す必要がある。

I委員：飛び石で平日と休日がある場合、子どもたちは地域クラブの日や部活の日を交互に参加することがあると理解しておくべき。

F委員：飛び石の場合は、先生や地域、クラブチームが話し合い、担当範囲を調整できれば問題ない。

N委員：休日の地域移行はマルチスポーツ的なクラブ活動で、子どもが週ごとに異なる場所や友達と参加できる柔軟な運営も求められる。指導者はチームが分散する可能性を考慮しつつ、新規参加者や友人同士の受け入れ体制も整える必要がある。

K委員：資料だけだと「部活の子は必ずどこかへ行く」と誤解されかねず、土日の過ごし方はもっと自由であるべき。例えば「家で勉強する」なども選択肢として尊重されるべきで、自由な選択ができることも明示すべき。

A委員：通常の習い事と一緒に。

K委員：その通り。英語塾行ったり他の活動もできる。中学生が土日は自分の時間を使える、部活も自分の時間ではあるが、もっと自由に部活以外のことをやってもいいです。よみたいなのことも明示する。

事務局：別紙資料1の最後のページに令和8年のところに休日の活動は、小さいがやる、やらないは自由に選べると記載している。

K委員：同じ種目をやる場合、違う種目をやる場合ももしかしたらあるし、自由に選択できる環境を整える。

N委員：クラブチームや地域は、休日移行期間中に選ばれる存在となるよう、仕組みや受け入れ体制をしっかりと準備しておく必要がある。

A委員：指導者がいないのは問題だ。

K委員：競技団体は、仕掛けや工夫をして受け皿を作る必要があり、ガイドラインに沿って進める必要がある。

A委員：少年団から中学に上がると道具が変わり、追加の費用がかかる場合があるので、その準備費用も競技団体が考慮すべき。

K委員：今回の全体会議では、課題を洗い出すために参加者の意見を集め、今後の進め方についても意見をいただきたい。

D委員：部会メンバーがファシリテーター的にそれぞれの競技に入るとありましたが、そこから我々を外していただきたい。いろんな競技の意見も聞きたいし、皆さんとは立場が少し違うと感じている。

K委員：私が全体を見たいと考えており、先生方も同じ立場でいてほしい。7競技が対象で、剣道はすでに体制が整っているため、Q委員が先行事例として他競技にアドバイスをを行い、剣道は今後のより良い環境づくりを考えるだけでよい。

N委員：剣道は特に担当をつけなくても、全体としてまとめて対応できればよい。

K委員：剣道を除く6競技のうち、バドミントンは協会側からクラブ化が難しいとされており、指導者の確保の面で課題がある。

H委員：休日に地域でバドミントンができない場合でも、部活で代わりに行うことは難しい。

事務局：協会としては対応できないので、やる人がいれば任せますとのこと。

H委員：保護者や先生が新たにクラブを作って、受け皿になることは可能か。

事務局：可能。協会として受け皿となる団体への協力などにはできないとのこと。

K委員：ファシリテーター役は、口出しをする必要はなく、具体的に何をするか、意見を引き出せるように話し合ってほしい。

A委員：剣道はすでに体制が整っているため、モデルケースとして参考にしてもらう形が効果的。

事務局：卓球も剣道同様に地域の人に関わっており、既に活動が進んでいるため、顧問と地域の話し合いは特に必要ない形で進めてもよいか。

K委員：剣道と卓球は話し合い自体は不要だが、方向性や課題がある可能性もあるため一緒に話をするのは有益だ。平日も含めた完全移行に関して課題が出る可能性がある。野球A委員、バレーボールH委員、ソフトテニスN委員、バスケットボールI委員、バドミントンK委員で担当する。基本的には習い事のようなイメージで、団体の方針で決めてもらう。

K委員：前段事務局からこれまでの説明を行い、競技団体が受け皿となるスタンスで意見交換を行う。競技団体が作るスクールやクラブの運営方法や活動場所の確保、会費設定などが課題になると考えている。

H委員：私たちは質問に答える係ではなく、全てを分かっている必要は特にない。

K委員：意見を言わなくてもよく、黙って聞いている人もいる中で、みんなが議論できる雰囲気を作る。

N委員：分からないことは聞けばよくて、話を聞かせてもらうみたいな感じですね。

H委員：令和8年9月の休日地域展開をスムーズに進めることがまず重要で、平日の地域展開については競技ごとに異なるため説明が必要。平日も地域展開を進める意識を競技団体に持ってもらい、休日だけの受け入れで終わらせないようにするべき。

事務局：ベストは来年から休日も平日も地域展開できることですが、地域の方は平日の指導ができないため、連携を進めることから始めていく。

I委員：現状、バスケの顧問は連盟の支援を歓迎しているが、子どもの人数を考えると名中と東中でチームを分ける方が運営しやすいことから、連盟が許可すればそれも可能か。

K委員：連盟がその方法を認めれば問題ない。

H委員：資料2で8月1日から9月5日までスポーツ団体との意見交換が予定されているが、実施は必要に応じて行うという認識でよいか。

事務局：昨年、地域展開の受け皿となり得る協会や連盟と話し合い、地域クラブとして活

動する際の課題を1年かけて把握するため、1年後に再度確認すると話をした。

H委員：スポーツ団体との意見交換と、右側の競技団体ごとの意見交換っていうのは別物なのか。

事務局：別物と考えていて、スポーツ団体との意見交換は、最終的に令和8年9月から受け皿になるか確認し、地域クラブと話を進める予定。

K委員：競技ごとの意見交換は日付にこだわらず、競技団体ごとに今回のワークショップの範囲で話し合い、課題を出して部会で報告する形を想定している。

I委員：全体会議での意見交換後の発表は誰がするのか。

K委員：意見交換後に各競技3分程度で発表し、会議全体で約90分を予定。競技ごとに発表・まとめ・書記役などを決めてもらう。事務局と進行について調整する。

N委員：競技団体や顧問には事前に会議の内容が伝わっているのか。

事務局：案内に内容を記載している。

A委員：話し合いの視点や課題の洗い出し、対応策については、競技団体だけでなく学校側からも意見が必要で、顧問の先生が話すという理解でよいのか。

K委員：地域展開に向けて、顧問の先生にも来年4月から指導者が地域に人になるといったことを校内で共有・話し合ってもらい、競技団体だけでなく顧問も課題に具体的にに取り組む必要があると考えている。

A委員：現場の顧問の先生をターゲットにした方が的確で、ヒアリングもしやすく実情が分かるため、その方が望ましい。

I委員：市P連のアンケートでは、保護者から部活動の地域展開が子どもや保護者の知らないところで進んでいるとの不安の声が多くあったが、今回の会議ではその点は気にせず、部活顧問と連盟のすり合わせに集中してよいのか。保護者の主な不安は送迎や会費などがある。

K委員：秋頃までに各競技団体がどのような受け皿を整えられるか協議中であると説明できる。市P連のアンケート結果を競技団体の方々にも共有してもらえるか。

F委員：問題ない。

I 委員：明後日、市P連事務局の東中にアンケート結果を各団体に共有してよいか確認し、了承が得られれば、保護者の悩みを競技団体の方々に伝えられる。

D 委員：市P連としての全体意見ではなく、あくまで市P連が実施したアンケートで個人の意見の集まりであると認識されるよう説明してほしい。

I 委員：市P連としてこうしろというわけではなく、市P連が実施する講演会の講師を決めるためのアンケートである。

D 委員：お金が一番の課題であり、保護者にも費用が発生することを伝える必要がある。10月が市役所の予算に関わる日程で、予算に基づく見通しが重要だと感じている。部会内で、今後の課題や見通しを持っておくべきだと考えている。また、学校職員の協力を得ることは可能だが、完全に無償での協力は難しい。他の市町村では適切な対策が取られているところもあるため、今後の進行に不安が残る。

K 委員：土日の活動については、学校の顧問ではなく地域の指導者として関わる立場であり、現時点では手当の仕組みはなく、クラブ運営の中で対応するのが基本。今後の課題として、金銭面の対応を検討していく必要がある。

A 委員：保護者に費用負担を求めて指導者報酬を渡すことは可能か。

K 委員：可能だ。

D 委員：地域の方と同様の扱いになると考えている。すべてボランティアだと誤解されないように、その点も含めてしっかり伝える必要がある。

K 委員：最初は足並みが揃わないかもしれないが、いずれは統一した方が良く考える。そのためにはスクールのような組織体を一つずつ整えていく必要がある。

D 委員：すでに中学生が関わっているところでは謝金が発生している可能性があり、それに合わせるのか、地域展開時に合わせるのかなど、聞かれた際に部会としての方向性を示せるようにしておくべきと考える。

K 委員：今後、課題は当然出てくるので、市としてどのように支援するかも検討中。金額も不明だが、それも含めて内容を検討する。

D 委員：地域展開で土日の選択肢が増える中、市内中学校の部活動だけでなく、クラブチームや少年団などの活動も同じ土俵に乗せる必要がある。子ども中心に考えると、不公平感を避けるため、市からの補助が出る場合は同じレベルで支援し、平日や土日の複数活動も考慮すべき。

H委員：現在の部活動の扱いを考える一方で、部活動のないカーリングやダンスなども選択できることが望ましい。

D委員：一定の基準を設けて、そのレベルなら土俵に乗れるという基準があった方がいいのでは。

F委員：指導者や会則が整っていることなどが基準になるのでは。

D委員：中体連は今後なくなる可能性があるが、当面は存続するため、その間の対応や課題についてしっかり考える必要がある。

K委員：資料1（2）地域展開の基本的な考え方で、地域展開でも中体連の出場が可能な体制を整えることが示されており、地域展開する8団体については中体連出場を目指す。中体連に出場ができるクラブには、インセンティブが必要か。補助を永続的にできないため、各競技団体が自立し、スポンサー獲得など新たな資金確保策を考える必要がある。受益者負担を前提としつつ、今後の課題整理の中で市の支援のあり方など変換期として検討しなければならない。全ての団体に平等な支援とはならず、対応できる団体から優先的に進めていく可能性もある。

K委員：7月24日18時30分から競技団体と顧問が参加し、地域展開の説明後、競技ごとに課題を洗い出し、今後の取り組みを意見交換するワークを実施。各部会員はファシリテーターとして参加。8月1日から9月5日の意見交換は中止し資料から削除。競技団体が主体となり顧問と協議し、今後の方針を決定。10月16日を最終リミットとし、統一フォーマットを作成、市民に分かりやすく提示予定。市P連のアンケートも活用。予算面では市の支援を検討し、費用の見通しも並行して進める。資料は見やすく整理し、言葉の定義や受益者負担、土日の活動が生徒の自主選択であることを明記。

A委員：名寄市の取り組みにある文化芸術部活動の検討・協議について、ここに記載する必要があるのか。

事務局：これは運動部会の資料だが、市の取り組みとして文化系部活動の分野も含まれるため記載をした。

A委員：文化の方はまだ休日の地域展開は決まっていないのか。

事務局：全く決まっていない。これから検討を進めるところ。

K委員：次7月24日全体会議行いますので、全員出席でよろしく。ありがとうございます。